

特記仕様書

地 拵

作業種	作業仕様	適用林小班等
全刈地拵	植幅 0.5m以上 置幅 1.7m以内	全林小班

※筋積みを基本とし、現地の状況に応じて監督職員と協議または指示に基づき作業を行うこと。

植 付

1 苗木の仕様

樹種	長さ	根元径	コンテナ容量	摘要
カラマツ (コンテナ苗)	35cm以上	4.0mm以上	150cc または 300cc	

※上記の仕様書を基本とするが、変更が生じる場合は事前に相談すること。

2 h a 当たりの植付本数及び苗木の植付間隔

植付樹種	h a 当たりの 植付本数 (本)	苗木の植付間隔 (水平距離)		適用林小班等
		列間	苗間	
カラマツ (コンテナ苗)	2,000本	2.2m	2.2m	全林小班

その他

1 下刈の実施時期及び順序について

事業内訳書によるほか、下草の繁茂状況に応じて着手するものとし、事前に監督職員と協議の上実施すること。

2 国土強靱化関連事業における工事看板の取扱いについて

次のとおり工事看板に国土強靱化対策事業であることを記載し、地域住民等に対して発信することとする。

(1) 工事看板の記載内容

工事看板に事業内容及び国土強靱化対策事業であることを簡潔に記載する。

記載文書例
健全な森林づくりのため下刈を行っています 国土強靱化対策事業

(2) 留意事項

標準仕様書により設置を義務付けしている看板等とは別に、新規で看板を制作することは不要。これまでに設置していた看板等に文書を追加することとする。